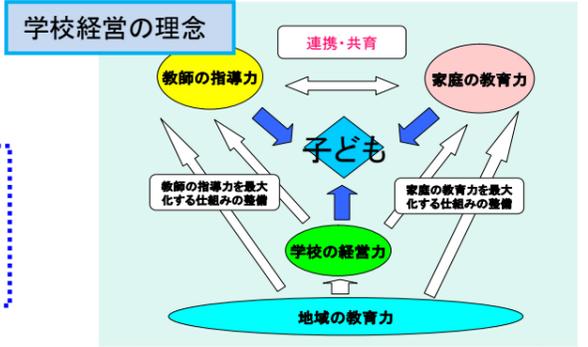


令和7年度北九州市立田原小学校学校経営方針 (グランドデザイン)

学校教育目標

心身ともに健康で情操豊かな子どもの育成
 知・徳・体の調和のとれた子ども



目指す学校像

安心、信頼される学校

- 児童も保護者も「田原小大好き」「田原小に通わせたい」と思える学校
- ◎ 私たち教師が「田原小大好き」「田原小で働きたい」と思える学校

目指す子ども像

- かしこく 自ら学び考える児童
- やさしく 思いやりの心をもった児童
- たくましく 心身ともに健康な児童

キーワード
「感動」
「CAN DO」

目指す教職員像

- 児童や保護者の願い・思いに真摯に応える教師
- 一人一人に愛情を注ぎ、児童の良さと意欲、力を引き出す教師
- 1時間の学習指導を大切に、楽しくわかる授業づくりを行う教師
- 自覚・責任・意欲をもって業務を遂行する教師
- 実践的な研修により、企画力・実践力・指導力向上を図る教師
- 学校教育への信頼と理解・協力が得られるように、家庭や地域・関係機関と連携を密にする教師
- 服務規律を遵守する教師

3つの重点目標及び具体的な方策

1. 「かしこく やさしく たくましく」を合言葉に日々の教育活動を展開し、教育目標の具現化を図る

2. 積極的な生徒指導の推進と一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

3. 確かな人権感覚を育む人権教育

<やさしい教師>

- 学年の輪、島での輪を大切に
- ほっとできる職員室に
- 情報の共有と意向の確認
- 自分の仕事+αの目を
- 重なり合う職員集団
- 挨拶を大事に
 - ・おはようございます
 - ・お先に失礼します
 - ・お疲れ様でした
 - ・ありがとうございます

いつでも・どこでも・どんなときにも
チーム田原

<かしこい教師>

- ◎ 全ての子どもの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ◎ 「主体的、対話的、深い学び」になるように授業改善を（発問の工夫を）
- 【学力向上・定着】
- ◎ 学習規律の徹底（田原小スタンダード）
- ◎ 基礎学力の定着を（かしこくタイムの活用）
 - 「学びの質を高める授業づくり5つのポイント」の周知・徹底と質の向上
 - 授業が1番 すべての時間であって、まとめを（45分間の保障）
 - 児童相互の教え合い活動の導入
 - 児童言葉で伝わることも
 - 「学びに向かう力」児童がのびる授業の工夫を
- ◎ 算数科学習を通して深い学びの実現に向けた授業実践と研究に努める
- 【体力向上・定着】
- 体育科学習における運動時間の確保（20～25分）
- 運動機会の増進（毎学期ごとの1取組）

<たくましい教師>

- ◎ 若年研の充実（5年次以下の授業研の実施・先輩に学ぶ）
 - 〇、1歩 自分の中で新しいもの、新しいことを（やめる部分も必要）
 - 特色を十分に生かして、先生が一番生き生きとした表情で児童にさせよう
 - 「こんなことをしてみよう、あんなことをさせたい」という思いを実現させよう
 - 自分の得意教科をつくろう（自主研修会への積極的な参加を）

- ◎ 絶対に学級を荒れさせない
- ◎ 子どもの声に耳を傾けて
- 学級の荒れは、全力で阻止
- 荒れの前兆を見逃さない。
- 積極的な生徒指導の推進
- 危機管理の「サシセソ」
- 「報・連・相」の徹底
- 昼までに対応、昼までに保護者に連絡 即時対応・即時解決
- 児童のけがについては必ず報告（首からは必ず）
- 児童の行動の意味、背景を考慮
- 親の立場になって、保護者対応を（一つ上の対応を）
- 「田原小 学校生活のきまり」についての共通理解と徹底
- 掃除の徹底（きれいな学習環境、きれいな生活環境）
- 中学校と連携した生徒指導
- 【特別支援教育の充実】
- 特別な支援が必要な児童たちへの支援体制の確立
- 個に応じた指導の充実
- 支援学級と交流学級との連携

- 【人権教育の積極的推進】
- ◎ 教師が丁寧な言葉遣いを
 - ・ 名前は「さん」付けて
- スタートラインをそろえてやる配慮を
- 言動には十分に配慮を 客観的に、文章になって自分の言動は大丈夫かどうかあらかじめ想像して
- 児童のプライドも考慮して（例）叱る時はこっそり、褒めるときは大勢の前で、大げさに
- 「新版いのち」「子どもつながりプログラム」の計画的な活用を通して指導を
- 地域と連携した人権教育
 - ・ 蛭田地域交流センター管内人権教育研修会等への積極的な参加

その他

不祥事防止

- ◎ 本校から不祥事を絶対に出さない
 - ・ 個人情報の管理の徹底
 - ・ 体罰・不適切な言動の禁止
 - ・ セクハラ、パワハラ等の防止
 - ・ 性暴力の禁止
 - ・ 飲酒運転の禁止、交通事故防止

不祥事を起こすと、信頼は一気に崩れ、信頼回復のための労力は限りなく続く

- ◆ お金の管理の徹底、備品等の管理の徹底（カメラ、タブレット等の管理）
- ◆ 身の回りの整理整頓（異常に気付く）・・・きれいな田原小（職員室、机上、教室）
- ◆ 公務員は、全体の奉仕者である。保護者や市民に対して誠実な対応に努める（来校者への温かいマナー）
- ◆ 外部からの電話等による児童の呼び出しや照会には原則として応じない（迷ったら管理職に一報する）
 - ※電話の対応…「田原小学校の〇〇です。」→アカウントビリティー（説明責任と信頼関係）
- ◆ 業務改善・・・意識の変革、放課後のメリハリ
 - ※会議の時間の短縮
 - ※仕事の優先順位をつけて、時間を有効に
 - ※データ、教材の共有による業務削減で自分の時間を作ろう
 - ※留守番電話の活用（17：00～翌日8：00）
 - ※残業時間、45時間以内、遅くとも19：00までには退校
 - ※定時退校日…毎週水曜日実施の徹底
- ◆ ワーク・ライフ・バランス…健康管理、仕事以外の時間の充実、家族との時間の充実→趣味をもとう！！